

## 自殺対策に関する講座の事前アンケート

札幌市の自殺者の原因・動機別自殺者数は、「健康問題」「経済・生活問題」「家庭問題」が上位になっています。中でも障がい者は、健康問題のほか、日常生活にも生きづらさを感じる機会が多いと考えられ、自殺のリスクが高いことが考えられます。みなさんの中にも、実際に自殺につながるようなこころの病の相談を受けられた経験がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

2月20日（火）に開催する中央区地域部会定例会では、障がい児・者のこころの健康と自殺対策に関する講座を開催します。講師として、自殺対策の研究と人材育成の専門家であられる、守村洋先生（札幌市立大学看護学部准教授）をお招きします。

日常業務で感じる課題の解決につながるヒントが得られる研修としていくために、事前にみなさんの関心や、先生にお聞きしたいことをお聞きしたいので、アンケートにお答えください。

### ■自殺対策の経験の有無

(1) あなたの業務の中で、利用者から「自殺したい」という相談、あるいは自殺してしまうのではないかと思うような相談をうけたことはありますか

頻繁にある  時々ある  ない

(2) 「頻繁にある」「時々ある」とお答えいただいた方で、相談を受ける中で対応に苦労したことや困ったことなどがあれば具体的に教えてください

### ■自殺対策のために重要な取組

(3) 自殺を防ぐために、どのような取組が特に重要だと思いますか（複数回答）

- 障がい児・者自身の心の健康を保つための取組の推進
- 具体的な自殺対策の知識の習得（ゲートキーパーの養成）
- ケースワーク等による実践的な対応のための学習
- 相談機関・医療機関との連携体制づくり
- 相談をうける側の心の健康の保ち方の周知
- その他

### ■自殺対策のために学びたいこと

(4) 自殺対策について、講師からお聞きしたいこと、学びたいことをお書きください

回答期限：お手数ですが、2月12日（火）までにご返信ください。

回答送付先：中央区保健福祉部保健福祉課 担当 舘山（たてやま）

E-mail: chuo.kobetsu.shien@city.sapporo.jp FAX: 011-231-2346